

ゴミ出し困難者への対策を

平成30年度から取り組む



みやし ようこ
宮地 葉子 議員

問 生活する上でごみ問題は避けて通れない。高齢化が進む中、ひざが痛い、重い物が持てない等々、ゴミ出しが年々困難になっている。また障がい者にとっても大変な問題だ。まずは実態を把握し、ゴミ収集場所を増やす等々、対策が急がれる。2年前に質問をし「平成30年度には方向を出す」との答弁だったが、対策は考えているか。

答 藤本 住民課長

ゴミ出し困難な状況の背景には、高齢化に加え、核家族や地域のつながりの希薄化がある。平成30年度から、まずはごみステーションの増設に補助を出して取り組み、自助を継続しやすい環境を整えたい。その上で共助に組みやすい支援を行い、その結果、公助の支援が必要な方には、町の直接的な支援を検討していきたい。

福祉政策

あったか事業の役割は

高齢者福祉の

拠点にしたい

問 あったかふれあいセンター事業は、特に高齢者とその家族にとっては必要な、ありがたい制度になっている。また、同事業は介護予防や認知症予防等々の福祉の役割を果たしていると思うが、今後、どのような方向で進もうとしているのか。



あったかふれあいセンター事業の一コマ

問 どの子もお金の心配をせず、平等に教育を受けられる権利は憲法で保障されている。就学援助制度はそのもとで経済的に困難な家庭への援助としてある。2年前の質問からかなり充実してきたが、さらに今年度から新たに取り入れた制度とは。

就学援助制度

**入学準備金を
入学前支給に
来年度から
実施したい**

答 川村 健康福祉課長
この事業は期間の経過とともに制度の拡張が行われ、介護サービスや認知症カフェなどの機能が追加され、高齢者福祉の拠点として福祉の向上に機能強化されている。今後は住民の身近な施設として地域の活動にも協力し、地域づくりや地域の活性化を図ることを目的として事業を推進したい。

また、入学準備金の支給がお金がかかる入学前に支給をするように求めたが、どうか。

答 畦地 教育次長

今年度は認定基準を1・3に引き下げ、対象者を広げる。また、新たに中学校に入学予定の小学6年生の内、認定を受けた生徒を対象に、4万円を上限に制服購入費用を助成する。

入学準備金は、平成30年度から入学前の3月上旬ぐらいに支給することにする。また支給する金額は国が引き上げたので、今までの約倍額を支給することとした。



就学援助制度で制服購入費補助
(平成30年度から)